

タイトル	REAS (Realtime Evaluation Assistance System) を活用した授業把握理解の試み
発表者	都立国分寺高校講師・東京学芸大学 (時田賢)、都立砂川高校教諭 (山下一郎)
<p>【主な発表内容】</p> <p>はじめに教科情報の担当者の現状説明。紙媒体は負担増。PHP・SQL は引継ぎが難しい。そこでメディア教育開発センターの REAS を活用。職員の負担軽減を目的。</p> <p>国分寺高等学校の事例説明。</p> <p>(1) 授業内アンケート Web 利用なので生徒の生の意見を聞いた。</p> <p>(2) 理解○×テスト REAS のアンケート使うことにより、生徒側はどの問題に対して理解が不十分であったのかを瞬時に把握することができる。</p> <p>(3) REAS を使うメリット・課題 サーバを介さずに活用可能。 結果を瞬時に把握。</p> <p>砂川高等学校の事例説明。</p> <p>(1) 年度初めのアンケート</p> <p>(2) 授業ごとの課題 回答一覧を提示、コメント＝授業のまとめ</p> <p>(3) 授業ごとのリフレクション 授業の振り返りができたか。→評価 (2 点満点) 具体的な内容がないと 1 点の評価。</p> <p>(4) 今後の活用予定 ①レディネス調べ ②授業理解度チェック</p> <p>(5) REAS を使うメリット 事前準備を行う場所や時間の制限がない。 メンテナンスの必要がない。 アンケート作成が容易である。</p> <p>(6) 今後の課題 生徒へのフィードバック 入力したデータは学習者の手元に残らない。</p> <p>質疑応答</p> <p>Q どれぐらいで使えるようになるか。 A 1 日で使いこなせる</p> <p>Q 生徒の変化 A 見ることにより表現力が上がる。</p> <p>Q 失敗は A 匿名なので最初は 2 チャンネルふうの名前を書く子がいたりする。意味を感じさせるためにある程</p>	

度の練習は必要。いきなり授業評価は無理だと思う。

Q 40人が使用して回線上問題はないか。

A 回線が細いと支障があると思う。

Q ボタンクリックで2度押しなどの対応は

A 2重投稿になる、CSVで確認できるのでふざけていれば指導できる。

山下先生

転勤し、学校のサーバ権限を持っていないため、一般ユーザの立場でどこまで情報活用ができるかチャレンジしている状況。

WEBへの資料公開許諾	<input checked="" type="radio"/> 許可 <input type="radio"/> 不許可	記録者氏名	千葉県 中田
-------------	---	-------	--------